

## 令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	31	学校名	静岡県立清水東高等学校	記載者	大橋康二
------	----	-----	-------------	-----	------

取組目標	成果目標	評価	関係者評価	意見
ア	いじめの根絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに対するトラブルの事前防止</li> <li>いじめへの対処の確実な実施</li> <li>ネットに関するトラブル：0件</li> <li>「誰に対しても相手の気持ちを大切に接している」と答える生徒の割合：95%</li> </ul>	A	<p>○いじめやネットトラブルが0件と素晴らしい、生徒指導が機能している証拠だと思います。ただし、学校から見えない部分もありますので、引き続きアンテナを高めて情報収集をお願いします。また、自転車事故も減少しており、交通安全指導の成果を感じます。大きな事故につながらないよう、今後ともご指導をお願いします。</p> <p>○いじめは少数者排除意識の具現化されたものである。自他ともに大切にすることを意識の増幅こそがいじめの減少につながり御指導の成果がみられる。○SDGsの流れからごみの分別・削減は世界的な課題で、清高生の意識の高さは喜ばしい。</p> <p>○現在新型コロナウイルスの感染者数も減少してきているが、まだ気を抜けないかもしれない。臨機応変に自他を守る意識と行動が必要であることは、93.8%の生徒が自覚している。</p> <p>○安心安全な学校を維持運営いただき、高く評価できると思います</p> <p>○近年、不適切な動画の公開により生徒のみならず学校全体が非難される事件が連続しています。いじめの根絶にも繋がるスマホ利用指導を引き続きお願いします</p> <p>○AED講習会に加え、たんか・ストレッチャーの使い方（無意識の人体搬送）も有効な訓練だと思います</p> <p>○コロナ感染症への引き続きに対応、新校舎建築工事に伴う対応等がある中で、安心安全な学校が維持されており、先生方の日頃の努力の成果であると感謝申し上げます。</p> <p>○自転車の交通マナーの指導については、ヘルメット着用の努力義務も合わせて、引き続き指導をお願いします。</p>
	授業中、部活動中、登下校中(特に自転車)の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の事故0件</li> <li>登下校時の自転車事故件数2割減</li> <li>職員対象のAED講習会の実施</li> <li>校内活動中に熱中症重症者を出さない。</li> <li>保健だよりの毎月発行</li> </ul>	A	
	防災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉メールによる防災連絡（緊急連絡）訓練の実施</li> <li>防災訓練を年2回実施</li> </ul>	B	
	新校舎建設等に伴う学校施設の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみの分別・削減・環境を守る行動をしている」と答える生徒の割合：85%</li> </ul>	A	
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>「毎日の健康観察や手洗い・手指消毒・換気を行っている」と答える生徒の割合：85%</li> </ul>	A	
イ	BYODによるICTを活用した授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年生徒のICT機器活用を目指す。</li> </ul>	A	<p>○ICTの活用が進んでいる様子が伺えます。今後欠かせないアイテムとなると思いますので、活用することが目的とならないように、生徒に力がつくような有効な活用方法を探ってほしいと思います。</p> <p>●学校webページのデザインが古いように感じます。</p> <p>▲BYODによるICTの活用は時代の趨勢であるが、良薬にも副作用は必ずあり。また、犯罪、事故の形態も様変わりしているので注意が必要だと思う。</p> <p>○学校ホームページの更新が頻繁に行われており、形だけのものではなくキチンと運用されている</p> <p>○ICT機器の教育利用は年々大きく進化していると思いますが、先生方のご努力で本校でもキチンとキャッチアップされており感謝いたしました</p> <p>○BYODによるICTを活用した授業について成果を上げていて素晴らしいと思います。。是非、評価と改善を積み重ねて、より良い取り組みを行ってほしいです。</p>
	HP、広報活動による本校にふさわしい優秀な生徒募集の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動を中心に教務部記事を月1回のペースで掲載する。</li> </ul>	B	
ウ	主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教員が講義形式に依らない授業展開の工夫を実践する。（各自学期に1回以上）</li> <li>年間2回以上、校内外の他の教員の授業を見学した教員の割合：80%</li> </ul>	B	<p>○教科による受け取り方に違いがあるため、すべての教員が同じ土俵で研修することの難しさはよくわかります。今後も「主体的・対話的で深い学び」という共通課題をもって、生徒の学力向上につながる研修に取り組んでください。</p> <p>○全国に視野を広げて取り組みをしていただけたらと思います。</p> <p>○一方的な知識伝達によらないアクティブラーニングの授業にかける教員の熱意が、達成状況から見て取れる。特にあまり余裕がない中、相互の授業見学を実施し、それを研修に繋げている活動は、私たちの時代と違って、格段に授業の内容が進歩している。教員各位の御努力に感謝したい。</p> <p>○スーパーサイエンスの目標を100%達成できたことに嬉しさを感じる。清高未来学なるものを知りたい。</p> <p>○先生方の負荷が大きく、個別の目標達成には物足りなさをお感じになっているかと思いますが、アンケートからは生徒が充実した授業を受け、理解度も年々高まっていることが読み取れ、先生方のご努力の賜物と思います</p>
	4校合同研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加教員による研修内容を各教科・分掌で共有する。</li> </ul>	B	
	探究活動の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の指導計画と評価法を完成させ、2年次の指導計画を立てる。</li> </ul>	A	

	取 組 目 標	成 果 目 標	評 価	関 係 者 評 価	意 見
I	SSH新制度の研究	・新制度指定を受けた先進校への視察 ・収集した情報を反映したプログラムの完成 ・先導的的改革型指定校の教育課程を参考に、教育課程の研究を行う。	A	A	OSSHとしての取り組みが定着し、大きな成果をあげていることが伺えます。今後も継続・深化させていってほしいと思います。 ○生徒のアクティブラーニングを促すこと以上に、学校そのもののアクティブラーニングを感じて大変心強い。また、中学生に対する「不思議実験講座」はその成果が、「理科がより好きになった」と答えた中学生の割合から見ても、かなり理科啓蒙に役立っていると思われる。再び日本が隆盛になるための人材を育てるためにも是非続けてほしい。 ○鈴木賞正賞受賞、SSH生徒研究発表会で審査委員長賞受賞など、大きな成果をあげていると思います
	SSH活動の充実	・「課題研究を中心としたSSH活動は有意義である」と答える生徒の割合：80% ・不思議実験講座受講後、「理科がより好きになった」中学生の回答：3.5点（4点中） ・国立遺伝学研究所訪問（実施できない場合は代替行事）は有意義だった」と答える生徒の割合：80%	A		
O	欠席、遅刻、早退の減少	・欠席数が過年度平均の8割以下となることを目指す ・「一年を通して、睡眠時間を平均6時間以上確保できた」と答える生徒の割合：70%	B	A	▲コロナ禍での欠席数増加はやむを得ない面があると思います。 ●運動部の環境整備を進めていただきたいです。 ○自他のそしてそれらを内包する環境を俯瞰することは極めて重要で、生徒の89.1%が「学校生活に満足している」と答えていることは、清高生の殆どが客観的に自己を見つめ、他との折り合いをつけているのだと思う。 ▲感染症の影響により欠席・出席停止が日常的なイベントとなりつつありますが、「皆勤賞」推奨的なスタンスよりも体調の自己管理の考え方を徹底して皆勤が「目的」とならないようにご指導お願いします ○グループエンカウンターの実施は高く評価できると思います ○生徒の体調・心の問題に配慮した取り組みがとても良いと思います。こうした先生方の努力が、生徒の学校生活への評価に表れていると思います。 ○部活動（特に文化部）の活躍は素晴らしく、そのご指導に感謝します。部活動の充実アンケートからも読み取れ、頼もしく思いました。先生方のご指導に感謝します。
	メンタル問題による不登校、転退学の減少	・「学校生活に満足している」と答える生徒の割合：80%	A		
	部活動の充実、成績の向上	・全国大会5部活、県大会10部活出場 ・「部活動が充実している」と答える生徒の割合：75%	A		
カ	探究活動の研究	・文理選択やキャリア教育へと繋がる指導計画と評価法の立案を目指す。	A	A	○講演会や大学訪問など先生方のご指導により、多くの生徒が進学に向けて努力している様子が伺えます。単に学力にあった大学を選択するのではなく、将来の夢や希望をもって、内発的な動機でがんばる生徒の育成にこれからもご尽力いただきたいです。 ○今後の社会変革をイメージできる指導とそこで活躍できる生徒の育成を期待します。 ○興味、知的欲求、探究と順を踏んでリソースの活用に至り、そして最終的に、自分は自分によって育て上げられる、という意識を持たせることは大切だが、かなり困難を伴うだろう。しかし、「指導のレベルに満足している」と答えた生徒が91.4%もいるということは、極めて適切な指導が行われていることを意味している。 ▲個人が体験する時空はかなり限られており、読書はその差を埋めてくれる最良の方法であるので、月1冊が70%になるようになって欲しい。教員の感想の割合も比例するのではないか。 ○個に合った適切な進路指導は、それを受け入れる側の成熟度も必要になると思うが、「プロフェッショナルと語る会」の実施は最も有効的であろう。正直、高校の、特に進学校がそこまで生徒にサービスするのかもしれないと思う。正直、高校の、特に進学校がそこまで生徒にサービスするのかもしれないと思う。社会では「どの大学を出ましたか」よりも「あなたは何かができるのですか」に移り変わってきており、イノベーションが進む。進路指導も「どの大学に」だけでなく「どの大学をどのように出てほしい」といった、大学予備校ではない高等学校の御指導をお願いしたい。 ○進学や将来のキャリア意識を醸成するために「プロフェッショナルと語る会」の役割は非常に大きいと思います。また、SSHによるキャリア教育と併せ、より一層の充実と、一年生だけでなく三年生への実施などの拡充をご検討ください。文理選択、進学先の選択など、各学年で生徒の視点が変化していくと思います ○朝読書など読書機会の創出により読解力の向上が見られており、これも先生方のご努力の成果だと思います ○進路実現に向けての取り組みについて、生徒の自己肯定感を高める指導も合わせて行ってほしいという先生方の姿勢が素晴らしいと思います。是非、継続した指導をお願いします。
	基礎学力の定着（校内学力試験の活用）	・令和4年度の評価結果について分析をする。 ・テスト返却1週間後の個票返却 ・「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合：85% ・「指導のレベルに満足している」と答える生徒の割合：90%	A		
	読解力をつける	・「年間5冊以上の読書を行う」と答える1・2年生の割合：70% ・「生徒の読解力が伸びた」と答える教員の割合：70%	B		
	個に合った適切な進路指導、進路面談の充実	・進路に関する保護者会を実施。目標参加率：80% ・オープンキャンパスへの2年次までの参加：90% ・「進路実現に向けての1年間の自身の取組に満足している」と答える生徒の割合：70% ・「新旧担任連絡会や校内進路検討会が進路指導に役立った」と答える教員の割合：80% ・「進路講演会が生徒や保護者の進路理解に役立った」と答える教員の割合：80% ・「プロフェッショナルと語る会は有意義だった」と答える生徒の割合：80% ・「将来の進路について考えている」と答える生徒の割合：80% ・「東大訪問（実施できない場合は代替行事）は意義があった」と答える生徒の割合：75%	A		
	個の実力にあった文理選択（1年生）	・「学校で発行された『進路ノート』、『進学資料』、『合格体験記アプローチ』、『最新大学情報』は進路を考えるうえで参考になった」と答える生徒の割合：75% ・不本意な選択となる生徒を出さない指導を行う。	A		

	取 組 目 標	成 果 目 標	評 価	関 係 者 評 価	意 見
キ	あいさつの励行	・「近所の人や知り合いにあいさつしている」と答える生徒の割合：90%	B	A	<p>○あいさつができる生徒が多く、災害復旧ボランティアにも力を注いだという話を聞きました。今後も清水区高校生の手本となるような姿を見せてほしいと思います。</p> <p>○挨拶は日ごろから行っていないとやろうとしてもできないものだと思います。あたり前のこととしてできるように今後も指導をお願いしたいです。</p> <p>○地元人間として、通用門の前をよく自転車で通り、横断歩道の脇で渡ろうとしている生徒がいれば一時停車は心掛けている。私が停車して、目礼で返してくれる生徒は100%である。また、評議員会でお邪魔した時でも、廊下ですれ違う生徒のほぼ全員が挨拶してくれとても好印象を持っている。</p> <p>○多くの生徒が自主的な災害復旧活動を行ったのは高く評価できると思います。日頃の先生方のご指導の成果だと思います</p> <p>○98%以上の生徒が研究旅行が充実していたと回答しているのは素晴らしい成果だとおもいます</p> <p>○全国的にも評価された台風15号の際の活動（給水ポイントアプリ）は素晴らしい</p>
	生徒会活動、ボランティア活動の充実	・「学校祭に満足した」と答える生徒の割合：80% ・各部活動で1回以上ボランティア活動を実施した割合：80%	B		
	研究旅行の充実	・「充実した研究旅行になった」と答える生徒の割合：80%	A		
ク	休暇取得促進日の設定	・休暇取得促進日に休暇を取得できる職員の割合が90%以上	B	B	<p>●小中学校もそうですが、時間外勤務を減らそうとしても教員一人にかかる仕事量が減らなければ、それは絵にかいた餅です。学校が業務のスリム化を推進することはもちろんですが、行政が教員定数を増やす方向で動いてほしいと思います。</p> <p>○先生方の御家庭を大切にしてください。</p> <p>○困難な社会状況の中で、休暇取得を85.1%の教職員が達成できたことは、教職員各位の努力の成果だと思う。徐々に9割台にもっていきければいいのではないかと。</p> <p>▲先生方の熱意の反映もあるかと思いますが、「休暇取得」促進と長時間労働の撲滅は徹底してお進めください</p> <p>▲ICT環境の強化により、確実に業務改善の環境は整っていくかと思えます。是非ご活用をうえ業務負担の軽減をお図りください</p> <p>○先生方の働き方改革への取り組みを続けて行ってほしいです。今年度、休暇を取りやすい日を設定したのは成果であったと思います。</p>
	業務の見直し、スクラップの推進	・印刷紙の使用量1割減を目指す。 ・19:30以降残留する職員が減少するように業務の割り振りを改善する。	B		
ケ	事務室運営の効率化	・各事務職員が1件以上の業務改善を提案	C	B	<p>▲通常の業務をこなしながら業務改善に取り組むのは本当に難しいと思いますが、少しずつでも効率的で成果のあがる業務内容に改善していくことを願います。校舎改築で大変な時期ですが、がんばってください。</p> <p>▲職員の皆様間のコミュニケーションを充実していただけたいと思います。</p> <p>▲学校の事務内容、事務の量が全くわからないので、Cと評価された項目も業務改善の物理的な余裕の有無、事務職員の意識の多少等判断は難しい。</p> <p>▲先生方の熱意の反映もあるかと思いますが、「休暇取得」促進と長時間労働の撲滅は徹底してお進めください</p> <p>▲ICT環境の強化により、確実に業務改善の環境は整っていくかと思えます。是非ご活用をうえ業務負担の軽減をお図りください</p> <p>▲新棟建築による業務の影響は大変大きなものだと思います。使用開始後、あらためての業務改善の取り組みとなろうかと思いますが、ICTなどの活用を進め是非とも業務負担の軽減を実現ください</p> <p>○新校舎の建設に伴い、通常以上の業務があり、負担が大きかったとお見ます。その中で事務運営が問題なく行われていて感謝します。</p>
	法令順守の徹底	・現金の適正な管理のために支払い、決算報告等はわかりやすい文書の作成に努め残金の迅速な返金処理等を行う。 ・個人情報情報の適正な保管により紛失及び漏洩事故ゼロ	A		
	安全安心な教育環境の維持	・月2回以上の施設点検と法令点検指摘箇所のすみやかな改修 ・的確な移転計画資料を作成する。 ・計画的な備品等の購入	B		